

挑戦 今も昔も

茨城にゆかりを持ち、郷土や歴史の発展に貢献した輝く偉人がいた。そんな偉人たちを紹介する。

◎長久保赤水 (1717~1801年)

日本初の本格地図

多賀郡赤浜村(高萩市)生まれ。学才を認められて第6代水戸藩主治保の侍講(教師)となり、農政や地理学などの本を著した。各地の書物や地図、旅人の話をもとに日本初の本格的な地図「改正日本輿地(よち)路程全図」を完成させた。



高萩市歴史民俗資料館所蔵

◎岡倉天心 (1863~1913年)

日本美術を世界に紹介

横浜生まれ。東京開成学校(東京大)で外国人教師フェノロサに会い美術に傾倒した。文部省で東京美術学校(東京芸術大)の開校に携わった。校長を経て、東京に日本美術院を創設。1906年、五浦(北茨城市)に移転させた。米ボストン美術館の顧問も務め、日本美術や東洋文化を世界に紹介した。



北茨城市

五浦美術館提供

◎板谷波山 (1872~1963年)

陶芸界初の文化勲章

筑西市出身で陶芸界初の文化勲章を受章した。東京美術学校で岡倉天心の薫陶を受けた。45歳の時には、明治以降の陶磁器として初の重要文化財に指定された「葆光彩磁珍果文花瓶(ほこうさいじちんかもんかびん)」を発表した。



筑西市



筑西市歴史民俗資料館提供

◎間宮林蔵 (1780?~1844年)

間宮海峡を発見

少年時代に小貝川の工事で役人に意見したことをきっかけに才能を見いだされ、江戸で測量などを学んだ。1799年に蝦夷地(えぞち)(北海道)に渡り、測量や植林に従事。その後、幕府から調査を命じられ、間宮海峡を発見した。



生家を残す間宮林蔵記念館

つくばみらい市

筑西市

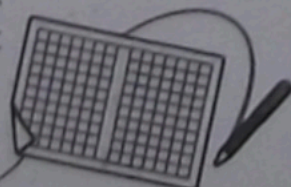
つくばみらい市

牛久市

◎住井すゑ (1902~97年)

差別と向き合う「橋のない川」

牛久市城中町で農業を営みながら、長編小説「橋のない川」など差別と向き合う作品の執筆を続けた。旧宅を活用した「牛久市住井すゑ文学館」が2021年11月3日にオープン。原稿や愛用品から足跡をたどることができる。



住井すゑ文学館提供

牛久市

◎神谷伝兵衛 (1856~1922年)

牛久シャトーを創設

酒造家を志し、24歳で東京に酒販店を開いて資金を集めた。1903年に日本初の本格的なワイン醸造所「牛久シャトー」を創設した。レンガ造りの施設は2020年、「日本遺産」の構成文化財に認定された。



牛久市教育委員会提供

牛久市

◎横山大観 (1868~1958年)

作品「流燈」「生々流転」

水戸藩士の長男として誕生。東京美術学校で岡倉天心らに学ぶ。その後、天心の日本美術院創設に参加し、五浦にも住んだ。「屈原」、「流燈」、「生々流転」など多数の作品を制作。天心の死後、日本美術院の再興に努めた。1937年文化勲章受章。



五浦美術館提供

水戸市

◎常陸山谷右衛門 (1874~1922年)

「角聖」と呼ばれた横綱

水戸出身。父の会社の倒産を機に相撲の道へ進んだ。1903年に横綱となり、14年に引退。幕内150勝をあげ、心技体を究めた姿は「角聖」とも呼ばれた。引退後は火災で焼失した国技館再建に尽力するなど、相撲を「国技」として発展させた。

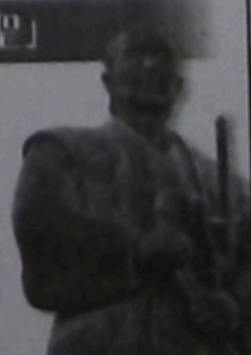


水戸市

◎塚原ト伝 (1489~1571年)

戦国時代の「剣聖」

鹿島神宮に仕える父の次男として生を受けた戦国時代の剣豪。多くの真剣勝負や戦場に臨み、一度も刀傷を受けなかったという。室町幕府13代将軍の足利義輝らに技を伝授したとされる。剣術「鹿島新当流」の創設者で、「剣聖」とうたわれた。



鹿嶋市